



## 風 穴 を 開 け る

学校教育課小中一貫教育係  
嘱託指導主事 平野久美

豪雪に見舞われ、一時はどうなることかと思われた空模様も穏やかになり、今年の十日町雪まつりは晴天に恵まれました。屋根からの雪解け水の音も聞こえ、春のきざしが感じられるこの頃です。

市内の学校の行事予定には、「学校評価」「～引き継ぎ会」「1日入学」「～ありがとう給食・週間」等々、年度末のまとめの取組が並んでいます。小中一貫教育本格実施1年目のまとめの時期に入りました。

試行1年目の2月号で新潟日報の「先生のつぶやき」欄への投稿記事を紹介したことを思い出します。3年前のことです。重なる所がありますが、是非大勢の方に知っていただきたいので紹介します。小学校教員を退職後、ボランティアで中学1年生の学習指導をしている方が、目に余る子どもの「幼さ」が中学校入学後の指導の支障になっている現状を訴えたものです。「在職中に小中連携事業などで、小学校での指導が中学校に入ってから重要であることを理解していたつもりであったが、自分が中学校という現場に入ってみて改めてその思いを強くしている。」という内容でした。そして、小学校教員に願うこととして、「児童にはとにかく、読解力、漢字力、作文力、そして、小数と分数の四則演算の計算力を確実に付けさせること。」とし、こうした力は『小学校卒業認定試験』といった位置付けにしても良いくらいであると述べておられます。さらに続きます。保護者に望むこととして、「適切な子離れと児童の自立心と忍耐力を培ってもらうこと。」を挙げ、学校でも、家庭でも、これらのことを遅くとも小学4年生ごろから意識して行うことの重要性を自責の念を込めて伝えている記事でした。

理解していたつもりであっても、実際その現場に入ってみると、初めて分かることがいかに多いかというこの先生の実感は、「百聞は一見に如かず」のことわざの正当性を裏付けているかのようです。

次年度は、その「一见」を少しでも体験してもらうことで、小中学校の相互理解を深め、より充実した小中一貫教育の推進を目指す「1日異校種体験研修」を開始します。たった1日、それも各校1人程度。全市総勢30人程という取組規模ですが、それぞれの営みの只中に入ってみると実感することは、必ずや小中一貫教育の取組に強力な風穴を開けてくれることと思っています。

中学生の頃、この時期になるとグラウンドの雪にシャベルで穴を開ける作業をしたものです。その穴から雪解けが加速されるのです。明治19年に小学校令と中学校令が別々に公布されて以来、120年以上もそれぞれの独自の文化を築いてきた小学校と中学校です。「1日異校種体験研修」はこれら異文化間の大きな壁の雪解けを加速させる力となってくれることでしょう。たった1日とはいえ、職場を空けて研修に出ることは、現場としては大変なことです。しかし、その大変さに見合う、いえ超えるほどの収穫が得られることを確信しています。



## ◆ 特集 小中一貫教育全中学校スタート1年目に思う

3年間のモデル中学校区での取組を経て、平成26年度から、十日町市の小中一貫教育が全中学校区でスタートしました。

どの中学校区も、スタートを前にして、それまでの特色ある教育活動を踏まえ、中学校区のグランドデザインをつくり、3つの指導計画を立て、十分な協議、準備を経て、児童・生徒の9年間の成長の姿を求めて歩み出しました。

2月号と3月号で、各中学校区の統括コーディネーターが考えているこの1年間の成果や課題、思いを紹介します。

### ゆるやかに「拡大」の輪を広げる

拡大中学校区統括コーディネーター 久保俊幸



拡大中学校区は、児童生徒数1000人、教職員数も100人を超える市内最大規模の中学校区です。7つの小中学校があるため、各校で様々な授業公開等が行われると、多くの先生方が、小中の垣根を越えて色々な授業を参観し、研修しています。

また、夏季休業中には「拡大中学校区の日」を設定し、小中交流のスポーツ教室やリーダー交流会、学びの系統表検討会を一斉に実施しました。そして、長期休業明けの子どもたちの生活リズムを早く取り戻す目的で、「家庭学習と元気生活1・2・3運動」の強調週間を9月と1月に実施し、これまでの取組をより効果的にする工夫も行いました。

拡大中学校区は、2つの中学校区にまたがっています。十日町中学校区、中条中学校区では、これまでも小中連携の取組が独自に行われてきました。その取組の良さや、各中学校が大切にしてきた校風や伝統を大切にしながら、ゆるやかに連携していくことを基本方針としています。互いの良さを引き出し合いながら、効果的な取組を実践することで、「拡大中学校」という意識をさらに広げていきたいと考えています。

### バージョンアップする小中一貫教育

吉田中学校区統括コーディネーター 川合徹人



吉田中学校区では、四半世紀も前から「吉田地区教育振興会」を組織し、児童生徒の学力の向上と、会員の資質・指導力の向上を図ることを目指して活動してきています。今年度は、「知・徳・体」の3つの部会がこれまでの小中一貫教育試行期間の活動を基盤にし、一つ一つの活動をバージョンアップすることを目指して取り組んできました。そして、今年度は、意識の共有化を図る点を工夫改善し、3つの部会の運営を実施してきました。各部会の取組は以下のとおりです。

(1)「知」部会の取組について

- ①「吉田の家庭学習5ヶ条」の推進 ② 算数数学系統表の活用 ③ 合同指導案検討会
- ④ キャリア教育プランの修正と活用

(2)「徳」部会の取組について

- ① あいさつ運動 ② クリーン作戦 ③ いじめ見逃しゼロスクール集会

(3)「体」部会の取組について

- ① 陸上部活動交流会 ② 吉田パワーアップ作戦 Part 4

3つの部会とも、それぞれの取組にあたり、意識の共有化を図るための話し合いの場を大切にしてきました。その結果、昨年度までの小中一貫教育の活動をバージョンアップすることができ成果を上げています。来年度も、一つ一つの取組を確実に見直し、より良いものに作り上げることで、小中一貫教育の充実を図っていききたいと考えています。



## 自信につながるかわりを

水沢中学校区統括コーディネーター 羽鳥賢太郎

水沢中学校区は、これまで水沢地区教職員協議会が中心となり、「自信をもって行動できる子」の育成を目指して3校で連携して取組を進めてきました。小中一貫教育の本格実施にあたり、これまでの組織を生かしつつ、教職員一人一人が目的意識をもち、より連携を深めていくことが必要でした。

子どもたちに自信をもたせるために、かわりの機会を大事にしました。知・徳・体の3つの部会の中での取組も、実際に小学生と中学生が互いにかかわって活動する機会を多く設定しました。そんな取組の一つとして、いじめ見逃しゼロスクール「絆交流」を行いました。小学校5・6年生と中学校の生徒会役員が集まり、中学生による「いじめ劇」を鑑賞し、その後の小グループで「水沢いじめ0宣言」を作成する活動では、中学生がリードして各自の考えを交流することができました。中学生にとってはリーダーとしての自覚を育む場として、小学生にとっては目標とする姿を実感する場として有意義な会となりました。

ただ、考えを交流して自信をもつという面では弱く、反省として、小・中学校それぞれの事前の指導と当日の支援が十分ではなかったことが指摘されました。担当者同士の話し合いの場は設定されていたのですが、十分な共通理解が得られなかったということです。

忙しい中で集まる機会は限られています。話し合いを有意義なものにするための事前の準備と、スクールオフィス等を活用した共通理解の工夫をさらに考えていくことが必要です。



## 子どもも大人も意識を高めるために

中里中学校区統括コーディネーター 関谷 昭夫

中里中学校区は、「自信をもつ子」をスローガンに設定し、モデル中学校区3年間の成果と課題をもとに改善を加え実践を重ねてきました。

集合学習では、今までの成果と反省を踏まえ、充実した円滑な活動ができました。児童アンケートでは、80%を超える児童が「楽しかった」と回答し、「他の学校の友達ができた」「新しい発見があった」と振り返る子どもたちが昨年度の2倍以上に増えました。また、中学校での乗り入れ授業や部活動体験を通して、中学校進学への不安が確実に軽減され、入学への期待感が増しました。今後も日常的な交流を更に進めていきます。

学力は徐々にではありますが向上が見られます。しかし、自分のもつ力を十分に発揮しているとは言えない面があります。一人一人の学力を伸ばす授業を目指し、指導力向上に向けた取組を進めます。学力は生活習慣と深い関わりがあります。特に、ネットとの関わり方について、保護者を交えた取組を進めていきます。

各種取組を通して、教職員の小中一貫教育についての意識が着実に向上しています。教職員の自己評価では、「小・中学校のつながりを意識している」「日々の教育活動に小中一貫教育の視点を生かしている」の肯定評価が昨年度より20ポイントアップしました。また、「組織運営が適切である」ことへの評価も向上しました。学期ごとに統括コーディネーターが推進日程表を作成し、これに基づき校内コーディネーターが各校への連絡調整を図ってきた成果です。この成果を次年度も引き継いでいきたいと思っています。



## 「松之山だからこそ、松之山でしかできない」教育活動の推進

松之山中学校区統括コーディネーター 山崎孝幸



小学校の統合により、1小学校1中学校の中学校区として小中一貫教育を本格実施しました。当地区では、「まつのやま小中一貫教育の手引き」を作成し、へき地・小規模校の特色を生かした9年間の継続した教育活動を推進できる環境を整え、教職員一人一人が活動のねらいや年間を見通して取り組める体制で推進しました。

今年度の事業で初の試みとなる小中合同文化祭では、松之山体育館を会場に、学習成果を発表し、子どもたちの9年間の成長の様子が伝わりとてもよい機会となりました。また、PTC発表や会場全員で行う合唱など、地域参画型の活動となる第一歩でもありました。

また、「人間関係づくり能力」「自己有用感」の育成に重点を置いた子どもたち主体の活動であるあいさつ運動や標語作成、小中交流集会などを実施しました。児童生徒がこれまで以上に数多く触れ合う機会を設定して、健やかで松之山を愛する子どもの育成に取り組みました。

当地区には、様々なリソースを生かした教育活動を推進できる環境にあります。小中一貫教育を一つのツールとして、子どもたちの9年間の連続した学びと成長のために、改善・発展させていく方策がまだまだたくさんあります。地域に住む子どもたちや大人の願いをしっかりと受け止め、地域に根ざした松之山ならではの事業として発展させていきたいと考えます。

## ◆平成26年度小中一貫教育取組評価アンケートの結果について

平成26年度の小中一貫教育の取組の評価につきましては、「教職員・保護者」「児童・生徒」とともに、市の全体の結果・考察を2月24日の教頭会において数値、グラフ等の速報をお示したところです。全体考察を載せます。

### 【平成26年度小中一貫教育取組評価アンケート全体考察】

#### 1 児童生徒

昨年度同様、児童生徒は9割以上が「1学校は楽しい」、「2友達に会うのは楽しい」、「3学校で好きな授業がある」、「5住む地域や十日町市が好き」と感じている。また、「6学校の授業以外の学習に取り組む」児童生徒は3.5%増となり、小中ともに改善が見られ、8割を超える結果となった。一方、昨年度同様、「7将来の夢や目標を持っている」と感じている児童生徒は8割、「4自分にはよいところがある」と感じている児童生徒は7割台のまま、特に顕著な改善は見られなかった。自己有用感が持てる取組やキャリア教育、個に応じた指導が必要である。小学6年生では、中学校への入学に対して「楽しみにしている」児童が4.3%増となり、「楽しみではない」と感じている児童も3.9%減と改善した。取組により、中学校へのスムーズな接続が工夫された成果である。

#### 2 教職員

対前年比2.1%減ではあるが、教職員は、概ね9割が「小中学校のつながりを意識して指導している」と感じている。一方、「特別な支援を要する子について、9年間を見通した支援を進めている」と感じている教職員は、対前年比4.4%減の7割台に落ち込む。また、どちらも小学校に比べて中学校の教職員の意識が低下している。教職員一人一人が、小中一貫教育を意識して取り組むための手立てが必要である。

#### 3 保護者

対前年比2.1%増となり、保護者は7割以上が「小・中学校が協力して取り組んでいる」と感じている。一方、小中別では教職員と同様、中学校の保護者で低下した。教職員の意識向上の取組と中学校区での情報発信等が必要である。

※各中学校区で、自中学校区のデータが必要なときは、市教委にご連絡ください。

# 教育センターから

## 十日町市の学校教育「実践報告集第10集」

十日町市教育委員会、十日町市教育振興会では「平成26年度の十日町市立学校及び中学校区の取組、教育研究等の内容の成果と課題を明確に記録し、十日町市の学校教育の振興を図る」ことを目的として、「十日町市の学校教育『実践報告集第10集』」を作成しています。



主な内容は以下のとおりです。

- 教育長あいさつ、市教育振興会会長巻頭言
- 十日町市教育委員会の今年度の取組の成果と課題
- 中学校区における小中一貫教育の取組報告
- 各学校の取組の成果と課題
- 指定研究発表会の実践報告
- 各校の表彰の記録

3月下旬には各学校に配付されます。今年度の十日町市の学校教育の集大成となります。自校の取組はもちろんのこと、市教育委員会や他校の取組もぜひご覧いただき、十日町市の学校教育への理解を深め、平成27年度の取組の方向性を明確にしてください。

## ◆平成27年度小中一貫教育異校種体験研修について

小中一貫教育だより「つながる1月号」で次年度の研修について紹介しましたが、今号では特に、新規の「1日異校種体験研修」について説明します。そのねらい・意図・趣旨については、今号の巻頭言で示しているとおります。

各中学校区統括コーディネーター連絡会では、具体的な取組方法について説明し、理解をお願いしているところです。

小学校の教職員が中学校に、中学校の教職員が小学校に、1日ではあるけれどその学校生活を体験することは、子どもの9年間の成長を見据えて小中一貫教育に取り組むうえで大変重要なことであると考えます。その内容については、中学校区の特色や受入学校、及び研修教職員のそれぞれの求めるもので多様性があると思いますが、イメージするためにその一例を紹介します。

| 【例】小学校から中学校へ<br>※指導方法の違いを知りたい |                  |     | 【例】中学校から小学校へ<br>※算数数学の系統性を実感したい |                   |     |
|-------------------------------|------------------|-----|---------------------------------|-------------------|-----|
| 時刻                            | 教科名と内容           | 担当者 | 時刻                              | 教科系名と内容           | 担当者 |
| 8:30                          | 朝のホームルーム見学       | ○○  | 8:25                            | 音楽朝会見学            | □□  |
| 8:55                          | 1校時；校長室で打合せ      | ◆◆  | 8:45                            | 1校時；打合せ、その後授業参観   | ●●  |
| 9:55                          | 2校時；2年生数学にTT授業   | △△  | 9:40                            | 2校時；5年算数TT        | ▼▼  |
| 10:55                         | 3校時；生活ノート点検の手伝い  |     | 10:20                           | 業間休みは児童とのふれあい     |     |
| 11:55                         | 4校時；3年体育にTTとして授業 |     |                                 | 3校時1年算数、4校時6年算数   |     |
| 12:30                         | 給食；2年生給食指導、会食    |     | 12:25                           | 給食、清掃活動、昼食休憩時間の遊び |     |
| 13:45                         | 5校時；1年国語授業参観     |     | 14:00                           | 6校時；3年算数          |     |
| 14:30                         | 6校時；研修の振り返り      |     | 14:55                           | 帰りの会の指導           |     |
| 15:30                         | 放課後；部活動体験        |     | 15:30                           | 研修の振り返り           |     |
| 16:30                         | 自校へ帰校            |     | 16:30                           | 希望の諸活動見学、終了後自校に帰校 |     |

年度を見越した計画の中で、研修したいこと（派遣教職員）、研修させたいこと（受入学校）を明確にして体験し、そこで得たものを共有しながら、小中一貫教育の主体的な取組姿勢を獲得する。

**※ぜひ、進んで手を挙げて参加してください。**



## ◆十日町市の小中一貫教育を参議院議員団が視察



2月23日（月）、地方における教育行政に関する実情を調査し、もって今国会提出予定の「学校教育法の一部を改正する法律案（仮称）」の審査に資するため、国会の参議院文教科学委員会の8人が十日町市を訪問し、下条中学校区を視察をしました。ほかに文部科学省関係者（6人）、参議院関係者（4人）、県教育庁（3人）など、とても大勢の訪問でした。

学校や県、市の小中一貫教育に関わる説明のほかに、下条小・中学校の児童生徒による「小中一

貫歌（ヒカリ）」の合唱や、中学生の「新保広大寺節」などを鑑賞しました。

「ヒカリ」の合唱の後には、国会議員を含めた多くの視察者が、感激してスタンディングオベーションの状態でした。

## ◆各中学校区取組紹介（2月～3月）

| 中学校区名                                 | 2月の取組                                                                                                                                                                                                                               | 3月の取組予定                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>拡大中学校区</b><br><br>統括；中条中<br>久保俊幸教諭 | ■ 2月9日（月）第3回市教委計画訪問（中条中）                                                                                                                                                                                                            | <input type="checkbox"/> 特記事項なし<br>                                                                              |
| <b>南 中学校区</b><br><br>統括；南中<br>影山裕一教諭  | ■ 2月 3日（火）第3回市教委計画訪問（西小）<br>■ 2月25日（水）次年度の計画について、コーディネーター会議を行う。<br>                                                                              | <input type="checkbox"/> 3月中 小中一貫だより（No.6）の発行<br><input type="checkbox"/> 3月中 南中学校英語教員が川治、西小に行き、出前授業を行う。<br><input type="checkbox"/> 3月10日（火）小中連絡会<br><input type="checkbox"/> 3月18日（水）学区教職員協議会教育推進会議 |
| <b>吉田中学校区</b><br><br>統括；吉田中<br>川合徹人教頭 | ■ 2月25日（水）心の教育部会<br>今年度の反省考察に基づき、新年度当初の活動計画（クリーン作戦）を立てる。                                                                                                                                                                            | <input type="checkbox"/> 3月11日（水）統括コーディネーター連絡会                                                                                                                                                        |
| <b>下条中学校区</b><br><br>統括；下条中<br>庭山敦教頭  | ■ 2月 4日（水）第3回市教委計画訪問（下条中）<br>■ 2月 6日（金）新入生説明会<br>■ 2月13日（金）統括コーディネーター連絡会<br>■ 2月23日（月）参議院文教科学委員会の委員が下条小・中学校を訪問した。小中一貫歌「ヒカリ」の合唱と新保広大寺節を披露した。<br> | <input type="checkbox"/> 3月10日（火）新入生体験入学 6年生が、8：20から給食までの中学校生活を体験する。<br><input type="checkbox"/> 3月16日（月）小中合同職員会議                                                                                     |

|                                         |                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>水沢中学校区</b><br><br>統括；水沢小<br>羽鳥賢太郎教諭  | ■ 特記事項なし<br>※市教委計画訪問は1月26日に実施                                                                                            | <input type="checkbox"/> 3月17日（火）統括コーディネーター連絡会                                                                                                                                     |
| <b>川西中学校区</b><br><br>統括；川西中<br>高野昭一教諭   | ■ 2月6日（金）第3回市教委計画訪問（橘小）<br>■ 2月9日（月）～16日（月）家庭学習強調週間④<br>■ 中越学童スキー大会に向けて、小・小連携、地域連携をしながら練習を行った。<br>■ 各部会で年間活動の総括と次年度の計画立案 | <input type="checkbox"/> 小中一貫だより③を発行<br><input type="checkbox"/> 乗り入れ授業（音楽）14:50 橘小<br><input type="checkbox"/> 乗り入れ授業（音楽）14:00 上野<br><input type="checkbox"/> 乗り入れ授業（算数）3限か4限に千手小 |
| <b>中里中学校区</b><br><br>統括；田沢小<br>関谷昭夫教頭   | ■ 2月4日（水）中里地区校長・企画委員会一貫教育グランドデザイン協議<br>■ 2月7日（土）、14日（土）、21日（土）に中越学童スキー大会に向けて合同練習会を実施した。<br>■ 2月10日（火）第3回市教委計画訪問（中里支所）    | <input type="checkbox"/> 3月3日（火）統括コーディネーター連絡会 14:00<br><input type="checkbox"/> 3月13日（金）校長・教頭合同会議<br><input type="checkbox"/> 保一小、小一中の連絡会を随時実施                                     |
| <b>松代中学校区</b><br><br>統括；松代中<br>木澤純教頭    | ■ 2月12日（木）第3回市教委計画訪問（松代小）<br>■ 2月17日（火）第2回中学校体験入学 13:30～15:15（松代中）                                                       | <input type="checkbox"/> 特記事項なし                                                                                                                                                    |
| <b>松之山中学校区</b><br><br>統括；松之山中<br>山崎孝幸教頭 | ■ 2月4日（水）小学生が中学生のリードで全ての部活動を体験した。<br>■ 2月6日（金）「健やかな体」部会の健康班と市松之山支所保健師の方との懇談会を開き、学校・地域における各事業について話し合いをした。                 | <input type="checkbox"/> 3月2日（月）統括コーディネーター連絡会<br><input type="checkbox"/> 3月10日（火）小中一貫教育推進会議                                                                                       |

